



事業シート（概要説明書）

様式1号

| | |
|--------|------------|
| ① 事業名 | 広報事業 |
| ② 細事業名 | ホームページ運用事業 |

| | | | | |
|--------|------------|----------|--------|--------|
| 総合計画体系 | 章 | 05自律協働都市 | 節 | 01協働 |
| 担当部・課 | 市長公室 広報広聴課 | | 事業開始年度 | 平成11年度 |
| 根拠法令 | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|--------------------------|--|----------|---------------|--|----------|----------|------------|---------|-----|----|
| ③ 事業内容 (手段・手法など) | 楽しく閲覧でき、目的の情報を探しやすいページ構成とするため、平成22年度からホームページ管理システム(コンテンツ・マネジメント・システム=CMS)を導入し、ページを作成している。各部署のページ情報は、CMSを使用して各部署の担当者が随時更新している。 ※コンテンツ・マネジメント・システム=CMS…ウェブを構成するテキストや画像、レイアウト情報などを一元的に保存・管理し、サイトを構築したり編集したりするソフトウェアのこと。CMSを導入すれば、ページ作成者はホームページ作成に関する専門知識(HTMLなど)を習得する必要はなく、ページを作成することができる。 | | | | | | | | | |
| ④ 目的 (何のために) | 市政情報をはじめ観光や文化など様々な情報をインターネットを通じて発信するため | | | | | | | | | |
| ⑤ 対象及び人数 (誰・何を対象に) | 河内長野市民、その他ホームページ閲覧者 | | | | | | | | | |
| ⑥ 現在の実施方法 | 職員が直接実施 (詳細:) | | | | | | | | | |
| ⑦ コスト | 平成23年度予算 | | 直接経費(A)の内訳 | | | | | | | |
| | 直接経費(A) | 1,260千円 | CMS賃借料1,260千円 | | | | | | | |
| | 人件費(B) ※(C)+(E) | 24,780千円 | 内 | 担当正職員:概算人件費(C) (H22決算平均給与8,260千円×従事職員数) | 24,780千円 | 従事職員数(D) | 3人 | | | |
| | | | 訳 | 臨時職員他(嘱託・アルバイト)人件費(E) | 0千円 | 従事職員数(F) | 0人 | | | |
| 総コスト (A)+(B) | 26,040千円 | | 財源内訳(収入) | | | | | | | |
| | | | 国・府からの補助金等 | 0円 | 使用料・手数料 | 0円 | 一般財源(市債含む) | 26040千円 | その他 | 0円 |
| ⑧ 対象事業の抽出の視点 (選考優先順位) | <ul style="list-style-type: none"> ◎ 積極的に市民の意見を取り入れたい事業 ◎ 市単独事業 | | | | | | | | | |

| | | |
|-------------------------------|---|---|
| ⑨ 目標 (目指すところ) ※より具体的に記入 | 様々な市政情報がタイムリーに掲載され、楽しく閲覧でき、目的の情報を探しやすいホームページをめざす。 | |
| ⑩ 事業の現状 | CMSの導入により、誰でも簡単にホームページを作成・更新することができる。また、閲覧しやすいページとなるよう、統一的なデザインとなるページを作成できるものとしている。 | |
| ⑪ 目標と現状の差 (課題) ⑨-⑩ | 部部署により、掲載内容や更新頻度に差があり、すべてのページが充実していると言えない部分があるとともに、外国人にも分かりやすい内容にするなどの改善が今後必要である。 | |
| ⑫ 解決策と論点 (⑪の課題の解決策と問題点) | <p style="text-align: center;">市側の事前論点</p> <p>【解決策】 ①ホームページは、市内外を問わず多くの人が情報収集する重要なツールであるとの認識を、職員一人ひとりが認識し、あらゆる情報を積極的に、分かりやすく発信するよう、各部署に働きかけることが必要となる。 ②閲覧者やページ作成者(職員)からの要望などを踏まえ、見やすく使いやすいホームページとするためのCMSの改善を行っていくことが必要となる。 ③外国人にも分かりやすいページとすることが必要となる。具体的には、自動翻訳ソフトの導入などによる翻訳機能の付加などが考えられる。</p> <p>【論点】 ①CMSでのページ作成などの操作面で不安のある部署や職員に対し、作成作業などに対する支援も必要となる。 ②別途費用が発生するような改修を伴わない改善策をとる必要がある。 ③導入費用などの検証が必要。</p> | <p style="text-align: center;">最終論点</p> <p>※ 事前概要説明会開催後に記入</p> |

【ホームページ運用事業】

■市ホームページアクセス件数

| | |
|----------|-------------|
| 平成 18 年度 | 232,282 (件) |
| 平成 19 年度 | 256,588 |
| 平成 20 年度 | 322,820 |
| 平成 21 年度 | 323,153 |
| 平成 22 年度 | 431,882 |

■平成 22 年 10 月のリニューアルの主な内容

- トップページで「見てみよう」という気持ちを持ってもらえるようなデザイン
例：市内の名勝名刹などを題材とした動きのあるイラストの配置、市のシンボルキャラクター「モックル」を動画で遊ばせる、市のトピックをスライドショー的に表示する、など
 - より情報が探しやすくなるよう、掲載情報を「こんなときは(ライフイベント別)」「くらし」「市政」「観光・文化財」「ビジネス」などの分類を行い、様々な入口から情報にたどり着くことができるように配慮。サイト内検索機能も充実。
 - よくあるご質問 (FAQ) の充実
 - イベントの開催状況を分かりやすく表示するための「イベントカレンダー」の掲載
 - 文字サイズ変更、背景色変更など WEB アクセシビリティに配慮した機能の実装 (その他、文章表記なども運用ルールを定めている)
 - 市民参加のコーナーとして、市民からの投稿写真を掲載する「河内長野フォトレポート」を設置。
 - 河内長野市への転入をアピールする「河内長野で暮らす」コーナーを設置
- ※ WEB アクセシビリティ…高齢者や障がい者など心身の機能に制約のある人でも、年齢的・身体的条件に関わらず、ウェブで提供されている情報にアクセスし利用できること。

■広告収入

- ・平成 19 年 3 月からホームページ上にバナー広告を掲載。
 - ・平成 22 年度広告収入 = 663,390 円
- ※バナー広告…ウェブサイトに広告主のサイトにリンクする画像を貼るインターネット広告。

■市政モニターへの市ホームページに関するアンケート調査結果 (一部抜粋)

- ・リニューアル後ホームページのイメージが良くなった…84.2% (16/25 件)
- ・ホームページに対する意見
 - ▽文化財や保険料などの説明などにさらに工夫して分かりやすくしてほしい
 - ▽写真やイラスト、アクセス地図などをもっとたくさん使う
 - ▽情報を得にくい項目やページがある
 - ▽観光に来る人のことも考え、特産品 PR や観光などの情報の充実を
 - ▽「よくある質問」のコーナーは便利



▲平成22年10月にリニューアルした市ホームページのトップ



▲イベントカレンダー



▲観光・文化財のページ